

平成29年6月30日

愛知県道路メンテナンス会議 事務局  
国土交通省中部地方整備局 名古屋国道事務所  
愛知県 建設部 道路維持課  
名古屋市 緑政土木局 道路建設部 道路建設課  
中日本高速道路(株) 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター

## 【愛知県道路メンテナンス会議】

### 平成29年度 第1回 会議を開催します

～平成28年度点検実施状況・結果について～

～県内各地で「道路老朽化対策」パネル展開催～

愛知県道路メンテナンス会議は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために平成26年度に設立され、道路橋等の点検計画策定や現地点検講習会等に取り組んできました。

今回、下記のとおり「平成29年度 第1回愛知県道路メンテナンス会議」を開催します。

また、「道路老朽化対策」パネル展を開催しますので併せてお知らせします。

- 1. 日 時** 平成29年7月12日(金) 14:00～16:00 (予定)
  - 2. 場 所** 愛知県自治センター 12階 E会議室 (名古屋市中区三の丸二丁目3番2号)  
(別紙地図参照)
  - 3. 会議の内容(予定)**
    - 議 事
      - (1)平成28年度点検実施状況・結果について
      - (2)平成29年度点検計画について
      - (3)その他
    - 意見交換
  - 4. 会議の組織** 中部地方整備局、愛知県、名古屋市、県内53市町村、中日本高速道路(株)、愛知県道路公社、名古屋高速道路公社、(公財)愛知県都市整備協会
  - 5. その他**
    - ・当日の傍聴は議事終了までとさせていただきます。
    - ・ご質問等については、議事終了後に対応させていただきます。
    - ・本会議の撮影は、会議冒頭まで(頭取り)とさせていただきます。
  - 6. パネル展** パネル展の会場については別紙を参照してください。
- ◆備 考 資料解禁 特になし  
配布先 中部地方整備局記者クラブ
- ◆問合せ先 国土交通省中部地方整備局 名古屋国道事務所  
みずの よしひろ  
担当:副 所 長 水野 良浩  
やまうち まさひこ  
総括保全対策官 山内 昌彦  
電話:052-853-7320
- 愛知県建設部道路維持課 予防保全グループ  
いとう しんご  
担当:課 長 補 佐 伊藤 慎悟  
ダイヤルイン 052-954-6696 内線2737

## 愛知県メンテナンス会議会場

# 愛知県自治センター12階 E会議室

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号

TEL (052) 961-2111 (代)愛知県庁 県庁内線5785(E会議室)

地下鉄名城線「市役所」駅から徒歩1分



「道路老朽化対策」パネル展を開催します(愛知県分)  
 ～高齢化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. パネル展の主な内容

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に高齢化が進んでおり、点検と修繕を行って次世代へ引き継いでいくことが必要とされています。

道路インフラが置かれている状況や道路の老朽化対策の取り組みについて、広く皆様にご紹介するためパネル展を実施いたします。

2. 開催場所と時期 (7,8,9月の予定)

瀬戸市 瀬戸蔵 2Fフロア	7月 3日～7月14日
岩倉市総合体育文化センター 1F	7月 4日～7月28日
扶桑町中央公民館 1F	7月13日～7月31日
阿久比町アグピアホール 1F	7月24日～8月10日
豊山町社会教育センター 2F	8月 1日～8月31日
豊田市役所南庁舎 1F	8月 1日～8月31日
岡崎市図書館交流プラザリぶら 2F	9月 2日～9月14日
碧南市図書館本館 2Fギャラリー	9月 2日～9月28日

進む橋梁の高齢化  
**重大な損傷も発生**

三重県・木曾川大橋でトラス鋼材が破断

2007年6月20日、国道23号の「木曾川大橋」で、道路を支える鋼材の破断を職員が発見しました。

この橋梁では1日に6万台を超える交通量があり、中部圏の大動脈として、地域の経済活動と生活に重要な役割を果たしていました。発見の翌日から緊急対策工事のため、約4か月間も車線規制が行われ、国道23号のみならず、周辺地域の交通に大きな影響がでました。

木曾川大橋はその後、本格的な修繕工事が行われ、安全性は確保されています。

■木曾川大橋 橋長858m 1963年架設



破断した鋼材。上下の両方に分離している



破断が発見された翌日に緊急対策工事に入った



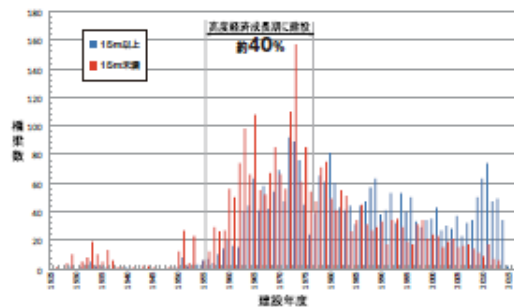
破断部の対応(右で破断部、左は修繕部)

進む橋梁の高齢化  
**高齢化する橋梁**

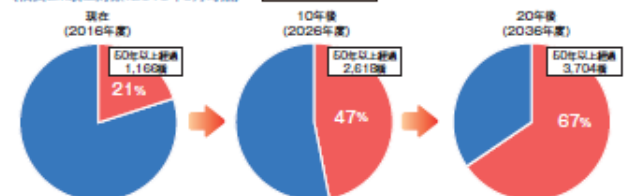
中部地方整備局が管理する橋梁約6,000箇所のうち、全体の約40%が高度経済成長期に建設されています。

建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、現在は21%ですが、今後20年で67%まで急激に増加します。

建設年度別橋梁数(中部地方整備局)



中部地方整備局の管理橋梁  
 (橋長2m以上対象、2016年9月時点)



※資料: 国土交通省「国土交通白書」(2016年)